

Title	事業構想型ベンチャーの急成長要因と株式公開後の戦略提言
Sub Title	
Author	吉川, 拓朗 山根, 節
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2005
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2005年度経営学 第2097号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002005-2097

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	山根 研究会	学籍番号	80431002	氏名	吉川 拓朗
<p>(論文題名)</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">事業構想型ベンチャーの急成長要因と株式公開後の戦略提言</p>					
<p>(内容の要旨)</p> <p style="margin-top: 10px;">本論文は、どのようなベンチャー企業が株式公開に至るまで成長し、株式公開後も持続的に成長するのかという問題意識のもと、事業構想型の急成長ベンチャー企業に焦点を当てて、株式公開までの成長要因分析と株式公開後の持続的成長戦略に関する提言を論述したものである。</p> <p style="margin-top: 10px;">[研究の方法]</p> <p>第4次ベンチャーブームと言われる1999年以降にJASDAQやマザーズ、ヘラクレス等の新興株式市場に株式公開を果たした企業群から事業構想型急成長ベンチャーを抽出、事業モデル毎に分類し、事例研究および企業インタビューによって仮説の構築、修正、検証を行った。</p> <p style="margin-top: 10px;">[株式公開までの成長要因分析]</p> <p>事例研究の結果、起業家要因として「職歴」および「ネットワーク」、内部環境要因として「ビジネスモデル」および「企業理念」、外部環境要因として「市場性」および「成長性」が共通項として抽出され、企業インタビューの結果、起業家要因として「リーダーシップ」が追加された。</p> <p>これらの共通項はすべて起業家の「職歴」から派生しており、株式公開までの成長要因は起業家の「職歴」の有効活用にあるという仮説が構築された。</p> <p style="margin-top: 10px;">[株式公開後の戦略提言]</p> <p>企業インタビューの結果、株式公開後は株式公開までの成長要因である「職歴」が逆に邪魔になるケースが多く、事業構想型急成長ベンチャーが持続的に成長を続けるためには、「市場魅力度」および「職歴」と関連性の深い「事業こだわり度」の2軸で構成されるマップにおいて戦略を展開すべきであるという仮説が構築された。提言においては各象限に応じて合計6つの戦略を論じているが、事業構想型急成長ベンチャーが一番陥る可能性のある「市場魅力度」が低く、「事業こだわり度」が高い象限では3つの戦略提言を行っている。</p>					